

第10講	近世ヨーロッパ2	学習日	月	日	名前:
------	----------	-----	---	---	-----

1. 主権国家体制の成立 … 主権国家が並び立つ体制

- (1)とは
- ・ 国家の三要素を備える = (2)
- ・ ローマ教皇や神聖ローマ皇帝の権威が衰える中で成立(中世は普遍的な権力だった)

2. 絶対王政の成立

- ・ 近世のヨーロッパ各国にみられた国王を中心とした強力な統治体制
- ・ (3)によって理論武装
- ・ (4)と(5)によって中央集権化
- ・ (6)… 商人を保護し、国家経済に国王が関与

3. スペイン << 16c後半に最盛期 But 17cに衰退 >>

- (7)… 位1556~1598、「8 」
- ・ ポルトガル併合(1580~1640)、世界各地に植民地を獲得
- ・ 1568~1640 (9)独立戦争 … オランダが独立を達成
スペイン本国のカトリック強要にカルヴァン派が多いオランダが反発
1602 オランダ(10)成立、アジア貿易に乗り出す
- ・ 1588 (11) = アルマダがイギリスに敗北 → 制海権を失う

※ スペインは新大陸からの富を宮廷の浪費・教皇への寄付に使っていた

4. イギリス … << 16cに絶対王政確立 But 17cに市民革命 >>

- (12) 1485~1603
- ・ (13) 位1558~1603、絶対王政の最盛期
- ・ 1600 東インド会社を設立 … アジア貿易に進出
- (14) 1603~1714
- ・ (15) 1642~49、世界初の市民革命
- ・ 国王(16)を処刑、一時(17)の独裁
- ・ (18)… 議会が国王の廃位を決議
- ・ 以後(19)の原則が確立
- (20) 1714~ … 1917 ウィンザー朝と改名

5. フランス << 16c宗教戦争で混乱、17c絶対王政の最盛期 >>

- (21)… 1562~98、フランス最大の宗教戦争
- ・ 戦争中にヴァロワ朝の国王が暗殺される → (22)成立
- ・ アンリ4世が1598(23)発布 … 新教徒に信教の自由(24)… 位1643~1715、太陽王、絶対王政の最盛期
- ・ 1664 財務総監(25)が東インド会社を再建
- ・ 度重なる対外戦争・植民地戦争で財政難
- ・ バロック様式の(26)を建築
- ・ ナントの王令廃止 → ユグノーが国外逃亡



6. ドイツ(神聖ローマ帝国)

<< 皇帝権は弱く、17cの三十年戦争で荒廃 >>

(27) 1618~48、世界史上最大で最後の宗教戦争

1618 ベーメン(チェコ)の新教徒の反乱 → 戦争勃発

※ フランスは新教徒側に立って参戦 = 主権国家

1648 (28)で終結 = 主権国家体制の確立

→ ドイツの分裂と荒廃が決定的となる

→ オランダの法学者(29)が『戦争と平和の法』を著す = 国際法

6. プロイセン(プロシア) << 17c成立、18c発展 >>

第3代国王(30) 位1740~86

- ・ (31) = 啓蒙思想の影響を受けた君主、実態は絶対君主
- ・ オーストリア(女帝(32))からシュレジエン奪還
→ オーストリアは(33)により奪還を図るが失敗

7. ロシア << 17cロマノフ朝成立、17~18c発展 >>

皇帝(34) 位1682~1725 … 絶対王政を確立

- ・ 北方戦争(1700~21)でスウェーデンに勝利、バルト海の覇権を握る
- ・ モスクワに代わる新首都(35)を建設 = 西欧への窓
- 女帝(35) 位1762~96 … 啓蒙専制君主
- ・ 南下政策を推進 … ロシアからクリミア半島を奪う(1783)
- ・ 日本に外交使節(36)派遣(1792)
- ・ エルミタージュ美術館